

「鈴鹿生活と健康を守る会」設立総会

「鈴鹿生活と健康を守る会」設立総会に参加しました。事前に中日新聞で紹介されたこともあり多くの方が参加しました。福祉の専門家、下井信夫さんを会長に7名の役員を選出、今後の活動に期待できます。

設立記念シンポジウムでは、三重短大・脇田愉司さんの基調報告のあと、シンポジストとして、津市民生委員・奥山さん、元生活保護利用者・長野さん、鈴鹿中央総合病院・藪下さん、四日市市保護課・小西さんの発言が続きます。各分野のリアルなお話しです。生活と健康を守る会に期待したいことは？の問いかけには、生活困窮者への相談と支援活動、居場所作り、行政にも

声を届けて使って下さい、との答えです。会長さんの閉会あいさつで「立場の違いをこえて交流し共通点を見つけていきたい」と、素晴らしい視点です。ケーブルネットCNSのカメラも入り、ケーブルニュースでも放映されました。

住む人に優しい町になるように、つながりの輪が広がるよう、力を合わせましょう。

「生活と健康を守る会」とは、憲法第25条で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」に基づき、生活保護法による国民の生存権を保障するため、運動する全国組織(略称：全生連、生健会)。(12/2)



バルーンフェスティバル

鈴鹿川河川敷で開催のバルーンフェスティバルを見にきました。朝7時前からの競技

飛行は終わっていましたが、さまざまなイベントがあり、お店もあり、多くの人で賑わっています。きれいな青空の下、歩いているだけでも気持ちいいです。(11/24)



■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール



HP



ブログ



No.15 2019年1月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1

電話・FAX 059-386-8561

携帯 090 6577 3617

発行：鈴鹿市議会議員 橋詰圭一



12月議会一般質問



急増する祝日保育要求

保育園の休日保育を利用する方が、この2、3年で急速に増えています。

鈴鹿市は製造業で働く人も多く、祝日が休みでない会社も多くあり、共働き世帯が増えているもど、祝日保育を望む世帯は増えていますが、私立の2園でしか行われていません。公立保育園での実施を求めました。

2020年4月に開園予定の西条保育所では、病後児保育事業と一時預かり事業を検討しており、そのための保育士の確保と体制整備を行う必要があります。現段階で公立での休日保育の実施は難しいとの答弁でした。

また、実施している園では、保育士の確保や代休の取得にも苦労しています。私立保育園の人材確保と定着のためには、保育士の低賃金の解消は、まったなしの課題で

す。市としても、公立と私立の賃金格差をなくす努力、財政的援助や休日保育事業への補助を求めましたが、国や県に強く働きかけていくとの答弁にとどまりました。

保育士不足の解消に繋がる取り組みが必要であり、今後、継続的に調査・検討をすすめていくとの答弁もあったので、引き続き休日保育の拡充と、私立保育園への財政的援助、保育士の処遇改善を求めていきます。

■休日保育実績

| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日曜保育実績 | 162 | 176 | 213 | 454 | 535 |
| 祝日保育実績 | 78 | 85 | 182 | 294 | 341 |

| | H29 | 1日平均保育日数 |
|------|-----|----------|
| 日曜日数 | 52日 | 約10人 |
| 祝日日数 | 15日 | 約23人 |

(休日保育の95%以上は1園で受け入れ)



第21回鈴鹿シティマラソン

昨年に続き2度目の参加です。鈴鹿サーキット国際レーシングコース1周5.6キロを走ったり歩いたりしながら、48分54秒で完走できました。暖かい日差しのなか少し汗をかきながら、気持ちよく走ることができました。10キロ、2キロ、車椅子などのコースがあり、全体では約7,400名の参加で賑わっています。市外、県外からの参加者も多く、数百人のボランティアの皆さんによって支えられています。(12/16)



一般質問②

生活保護行政について

①10月からの生活保護基準改定について

②親族の援助について

生活保護を利用するための要件は、資産と能力の活用だけであり、親族の扶養義務は、保護の要件ではないこと。また、生活保護での扶養義務は、未成熟の子と配偶者には扶養義務があるが、それ以外の一般親族は経済的余力の範囲での援助であること

■生活扶助の基準額(モデルケース)

| 世帯構成 | 2018年10月から | 増減 |
|----------------------------|------------|------|
| 母子世帯 (32才、9才、4才) | 約 17万 3千円 | 0 |
| 夫婦 4人世帯 (40才、35才、7才、5才) | 約 17万 1千円 | -2千円 |
| 高齢者単身世帯 (70才) | 約 6万 4千円 | +1千円 |
| 高齢者夫婦世帯 (70才、68才) | 約 10万円 | +3千円 |

※住居費補助上限額は、1人世帯33,400円、2人世帯40,000円、3人以上世帯は43,400円

■H29年度 保護課窓口における各種件数

- 生活相談件数 のべ790件
- 生活保護申請件数 112件
- 生活保護開始件数 85件

■保護利用率

全国 1.66% 209万人 鈴鹿市 0.50% 979人



を、改めて確認しました。

③車の保有について

市内の児童扶養手当受給者約1700世帯のうち、40%の世帯が生活保護水準より低い生活を強いられていると推測できます。しかし、生活保護を申請できない大きな障害は、自動車の保有にあることは明らかです。1人親世帯での生活保護利用率は都会では20%近くあるのに比べ、地方では1%以下という統計もあります。児童扶養手当を受給している1人親世帯にたいして、自動車の保有を容認する意見書を国に出すことを求めました。

④保護のしおりと、相談者の立場に立った窓口対応の改善を求めました。

鈴鹿で保護課の窓口に行ったが保護を受けられなかったという話をよく聞きます。窓口で、いくら生活に困窮している状態を話しても自ら「保護を申請します」と言わない限り、保護課の方から「保護を申請しますか」と聞かれず、ずっと相談扱いに終わっているわけです。

私は、このような対応は、生活保護行政として間違っていると思います。福祉の心が感じられません。福祉のプロフェッショナルが育つことを願います。

害時要援護者」の方の避難をどうするか、あまり議論されていないように思います。

この自治会のような訓練が、沿岸部の他の自治会にも広がるといいですね。(11/18)



小さな自治会の津波避難訓練

白子地区の小さな自治会の避難訓練を見学して来ました。子どもからお年寄りまで20名余が集会所に集合して、非常持出袋の点検、非常用発電機の起動などのあと、列を作って体育館まで歩きました。

地震発生から鈴鹿市沿岸に津波が来るまで約70分かかると言われています。津波が発生のニュースを聞いてから、となり近所声かけ合って避難する時間は十分あります。しかし、お年寄りや障がい者など「災

今年もよろしく
お願いします



新しい年が始まりました。この4年間で振り返り、印象に残っている議案審議を5つあげてみました。

(1) 2015年3月「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」賛成21 反対10で可決。

(2) 2016年3月「国保17%値上げ」賛成21 反対10で可決。

(3) 2017年12月「上水道12.5%下水

チキンラーメンと
スーパーカブと日本共産党

昨年11月に、池田市のカップヌードルミュージック・安藤百福記念館を見学しました。朝ドラ「まんぷく」のモデルであり、大勢の人で賑わっていました。

戦後の食糧難の時代に、新しい「食」の創造に人生をかけ、インスタントラーメンを発明し、特許を公開し、世界中に広めた百福さん。

昨年、チキンラーメン発売から60周年で、私が働いてきたホンダのスーパーカブも発売60周年で、共に今なお世界中で作られ、愛されている商品です。

無いものを作り出す、人々のためになる

道20%値上げ」値上げは過大と論戦。

(4) 2018年3月介護保険料年額1,090円値上げで69,380円に、基金9億円取り崩せば値上げなしで、なお5億円余の基金が残ると主張。

(5) 生活交通で5回質問。①交通不便地域の解消は自治体の責任、②乗車運賃無料は費用対効果が良い、③みんなで育てる地域バス(地域活動や健康)の論点で提案してきました。

今年も、皆さんの声を市政に届けるために頑張ります。よろしくをお願いします。



喜ばれるものを作り出すという創業者の思いが、今も受け継がれている企業として、共感をよぶものがあります。

日本共産党は今年、97周年を迎えます。市民の皆さんに愛され喜ばれる活動めざして頑張ります。



定期的な趣味が2ヶ月に一度の奈良史跡巡りハイキング。11月は、明日香に蘇我氏の遺跡を訪ねて歩きました。写真は、都塚古墳。



■若松・千代崎海岸清掃ボランティアに参加。地域の皆さんの熱意で年2回続けられています。